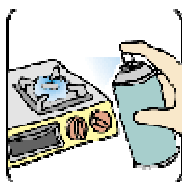


使用上の注意事項と正しい使い方

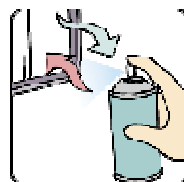
かため太郎は、容器の中に内容物を圧力のある状態で保存し、ボタンを押すだけで放出されます。かため太郎は高圧ガスを使用した可燃性の製品ですから、使用前及び捨てる前に、製品情報を必ず読んで、正しく使用すれば、安心してお使いいただけるものです。

火気注意!



炎に向けて使用したり、ストーブやコンロ、湯沸器など火気の付近で使用しないでください。火気を使用している室内で大量に使用しないでください。十分に換気をしてください。

換気には充分注意してください



エアゾール製品をしめ切った狭い場所で一時的に大量に使用する場合、気分が悪くなることもありますので、必ず換気をしてください。

目や口に入らない様に気を付けて下さい



目や口に入ると刺激を受けることがあります。使用の際には十分気を付けてください。また内容物を故意に吸い込まないようにしてください。

使用目的以外には使わないで下さい

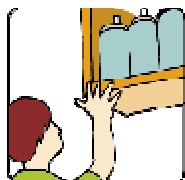


指示された以外の使用方法は、危険を生じることがありますので絶対にしないでください。

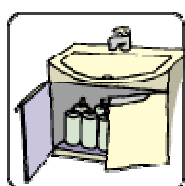
出典: 社団法人日本エアゾール協会

保管上の注意事項

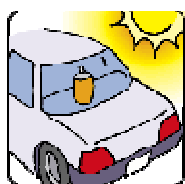
保管上の注意!



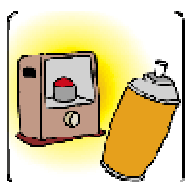
子供の手の届かないところに置いてください。



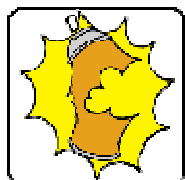
浴室や洗面所、流しの下など湿気の多い場所には置かないでください。スチール缶の場合、缶が錆びて破裂する原因になることがあります。
押入の奥などに長期間置き忘れてしないでください。



ファンヒーター、レンジ、自動車の窓の近くや座席の上などに置かないでください。
夏季に窓を閉めたまま直射日光の当たるところに駐車している自動車内の温度は高くなり、長時間のうちには缶が70度以上も加熱されることがあります。



ストーブやコンロなど火のそばには置かないでください。



エアゾール缶は密封されているので、たとえ空になったと思われるものでも破裂する危険があります。火の中には絶対に入れないでください。

出典:社団法人日本エアゾール協会

正しい排出(ごみの出し方)の方法



エアゾール缶は、使い切ってごみに出す

エアゾール缶は中身を使い切ってごみに出すことが必要です。やむを得ず使い切らずにごみに出す時には、火気のない通気性の良い戸外で、衣服にかからないようにして、中身がなくなるまで噴射ボタンを押して中身を完全に出し切ってください。

■エアゾール缶は、容器の耐圧強度と気密性によって安全性を確保しており、使い切るまで保たれております。また、ジメチルエーテル(DME)などの可燃性ガスが噴射剤として使用されております。従って、中身が残っているエアゾール缶を不用意に容器に穴をあけたり、中身が残っているエアゾール缶をごみに出すと火災や破裂事故につながる可能性があります。



■使い切ったつもりでも中身が残っていることがあります。

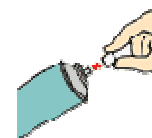
エアゾール缶は使用条件により、ガスの噴出効率が悪くなり、使い切ったと思っても、缶の中に少量中身が残ることがあります。



エアゾール缶の中身排出機構(残ガス排出機構)の活用を

本製品は、エアゾール缶の中に残ったガスを確実に、安全に抜くためのキャップなど[中身排出機構(残ガス排出機構)]を装着しています。

■使い切った後、キャップ(ふた)や噴射のための押しボタン等プラスチックを分別してください。容易に取り外せない場合は無理して外さないでください。



使い切ったエアゾール缶とプラスチックは
各市区町村の指示に従い分別して、ごみに出してください。



出典: 社団法人日本エアゾール協会

中身の排出方法

中身排出機構(残ガス排出機構)の使用方法

スプレーボタンを容器から外してください。



キャップの中にティッシュを3~4枚まるめて詰め込んでください。

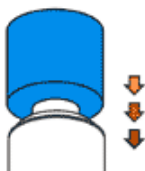
さらにその上からセロハンテープでティッシュを



スプレー缶を平らな場所に置き、キャップを逆さまにしてキャップの窪みに合わせキャップを押し込みます。**※中身が残っている場合は、ティッシュを数回交換して中身を抜いてください。**



噴射音が消えるまで放置してください。



出典: 社団法人日本エアゾール協会

ノズルの詰まりにより中身排出機構(残ガス排出機構)が御使用いただけない場合の対処

方法1

市販のエアゾール缶穴あけ装置により中身を排出してください。

※作業には危険を伴うことがありますので、養生などの準備を行い、取扱説明書をよくお読みの上、注意して行ってください。

方法2

下記までご郵送に限りお送りくだされば(送料はお客様ご負担)、弊社にて回収いたします。その際の梱包は十分に注意してください。

※直接のお持込はご遠慮ください。

送り先

511-0432

三重県いなべ市北勢町東村1339

オバナヤ・セメントックス株式会社

三重工場業務部「かため太郎」

リサイクル回収係宛

TEL 0594-72-3414

使用上の注意事項

- 必ず中身を使い切ってからガス抜きをしてください。
- 火気のない、平らな場所の屋外で作業してください。
- 中身で汚れる場合がありますので、飛び散っても差し支えないところ、服装で作業を行ってください。
- 予め、地面にはダンボール、新聞紙、ウエス等を敷いておいてください。
- ごみに出す時は、各自治体の指示に従ってください。

 オバナヤ・セメントックス株式会社

セメントックス事業部東京支店企画開発室

TEL 03-3663-7641

64/14-10

お願い

この度、「かため太郎」試験発売に際しまして貯蔵安定性試験6ヶ月を実施し、所見なしとの結果に至りました。しかし、貯蔵温度の変化が著しい場合、稀に使用前でも噴霧ができなくなる可能性があります。従いまして、その場合は、出荷日より6ヶ月以内のものであれば新品とお取替えさせていただきますのでご連絡をお願い申し上げます。

●お取替え手続きについて
ご面倒をお掛けいたしますが下記の要領でお手続きをお願いいたします。

①下記へご連絡ください
オバナヤ・セメンテックス株式会社
セメンテックス事業部 企画開発室
TEL 03-3663-7641

②下記へ梱包後着払い伝票にてご郵送ください。
511-0432
三重県いなべ市北勢町東村1339
オバナヤ・セメンテックス株式会社
三重工場業務部「かため太郎」係宛
TEL 0594-72-3414

③到着確認後新品をご発送いたします。

《参考》

本製品は、当日使い切りタイプですが、ノズル先端に付着し固化した樹脂を取り除けば3日程度は噴霧できることを確認いたしております。しかし気温やその変化を想定した確認は行っていないため必ずしも噴霧できるとは限らないことを予めご了承ください。

今後ともお客様のお役に立つ製品作り、品質の安定に万全をつくす所存でございますのようしくお願い申し上げます。

使用後の容器の排出について

「かため太郎」ご使用後の容器について、別紙ご案内のとおり適切な処理の後にお客様がいらっしゃる各自治体の定めにより排出してください。又、ご希望があれば、下記まで送料お客様ご負担に限り、弊社にて回収いたします。尚、直接のお持込の対応はいたしかねます。

●「かため太郎」ご使用後の容器の回収手続きについて
ご面倒をお掛けいたしますが下記の要領でお手続きをお願いします。

①電話にてお申し込みください→②梱包後郵送してください

連絡先

オバナヤ・セメンテックス株式会社
セメンテックス事業部 企画開発室宛
TEL 03-3663-7641

送り先

511-0432
三重県いなべ市北勢町東村1339
オバナヤ・セメンテックス株式会社
三重工場業務部「かため太郎」リサイクル回収係宛
TEL 0594-72-3414

《参考》

本製品は、当日使い切りタイプですが、ノズル先端に付着し固化した樹脂を取り除けば3日程度は噴霧できることを確認いたしております。しかし気温やその変化を想定した確認は行っていないため必ずしも噴霧できるとは限らないことを予めご了承ください。

今後ともお客様のお役に立つ製品作り、品質の安定に万全をつくす所存でございますのようしくお願い申し上げます。

 オバナヤ・セメンテックス株式会社

セメンテックス事業部東京支店企画開発室

TEL 03-3663-7641

64/14-10